

災害統計

令和5年 業種別労働災害発生状況 その1 (新型コロナ除く)

令和5年1月1日～令和5年12月31日(確定)

北海道労働局

業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	50	7,191	7,241	51	7,132	7,183	58	0.8	100.0	51	7,132	7,183
製造業	4	1,119	1,123	4	1,153	1,157	-34	-2.9	15.5	4	1,153	1,157
食料品	3	612	615	1	598	599	16	2.7	8.5	1	598	599
木材・家具		87	87		100	100	-13	-13.0	1.2		100	100
紙・印刷		19	19		34	34	-15	-44.1	0.3		34	34
窯業・土石		43	43		61	61	-18	-29.5	0.6		61	61
金属・機械		180	180		180	180			2.5		180	180
その他	1	178	179	3	180	183	-4	-2.2	2.5	3	180	183
鉱業												
鉱山		3	3		2	2	1	50.0	0.0		2	2
土石採取業	1	16	17		19	19	-2	-10.5	0.2		19	19
建設業	6	883	889	23	883	906	-17	-1.9	12.3	23	883	906
土木工事業	4	292	296	13	303	316	-20	-6.3	4.1	13	303	316
建築工事業	2	373	375	5	383	388	-13	-3.4	5.2	5	383	388
木造建築業		115	115		112	112	3	2.7	1.6		112	112
その他		103	103	5	85	90	13	14.4	1.4	5	85	90
交通運輸事業	1	221	222	1	252	253	-31	-12.3	3.1	1	252	253
陸上貨物運送事業	10	825	835	5	848	853	-18	-2.1	11.5	5	848	853
道路貨物運送	10	768	778	5	797	802	-24	-3.0	10.7	5	797	802
陸上貨物取扱		57	57		51	51	6	11.8	0.8		51	51
港湾運送業		8	8		15	15	-7	-46.7	0.1		15	15
林業	4	64	68	1	80	81	-13	-16.0	0.9	1	80	81
水産業	1	140	141	2	133	135	6	4.4	1.9	2	133	135
商業	5	1,094	1,099	5	1,133	1,138	-39	-3.4	15.2	5	1,133	1,138
清掃・と畜業	3	410	413	1	420	421	-8	-1.9	5.7	1	420	421
上記以外の事業	15	2,408	2,423	9	2,194	2,203	220	10.0	33.5	9	2,194	2,203

※ 本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計した速報値である。
 ※ 死亡災害については、本年・昨年ともに把握した件数である。
 ※ 休業災害については、本年は把握した件数、昨年は再集計した件数である。

令和5年 業種別労働災害発生状況 その2(新型コロナ除く)

令和5年1月1日～令和5年12月31日(確定)

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		119	119	1	103	104	15	14.4	1.6	1	103	104
畜産業	2	326	328	2	314	316	12	3.8	4.5	2	314	316
金融・広告業		55	55		46	46	9	19.6	0.8		46	46
映画・演劇業		1	1		5	5	-4	-80.0	0.0		5	5
通信業		185	185		182	182	3	1.6	2.6		182	182
教育・研究業		69	69	1	63	64	5	7.8	1.0	1	63	64
保健衛生業		879	879		840	840	39	4.6	12.1		840	840
接客娯楽業	3	455	458		367	367	91	24.8	6.3		367	367
その他の事業	10	319	329	5	274	279	50	17.9	4.5	5	274	279
合計	15	2,408	2,423	9	2,194	2,203	220	10.0	33.5	9	2,194	2,203

「第三次産業」の内訳

業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	5	1,094	1,099	5	1,133	1,138	-39	-3.4	15.2	5	1,133	1,138
うち小売業	2	856	858	3	896	899	-41	-4.6	11.8	3	896	899
金融・広告業		55	55		46	46	9	19.6	0.8		46	46
映画・演劇業		1	1		5	5	-4	-80.0	0.0		5	5
通信業		185	185		182	182	3	1.6	2.6		182	182
教育・研究業		69	69	1	63	64	5	7.8	1.0	1	63	64
保健・衛生業		879	879		840	840	39	4.6	12.1		840	840
うち社会福祉施設		644	644		615	615	29	4.7	8.9		615	615
うち医療保健業		228	228		207	207	21	10.1	3.1		207	207
接客・娯楽業	3	455	458		367	367	91	24.8	6.3		367	367
うち飲食店		218	218		182	182	36	19.8	3.0		182	182
うち旅館業		115	115		88	88	27	30.7	1.6		88	88
うちゴルフ場	1	51	52		40	40	12	30.0	0.7		40	40
清掃・と畜業	3	410	413	1	420	421	-8	-1.9	5.7	1	420	421
その他の事業	10	319	329	5	274	279	50	17.9	4.5	5	274	279
うち警備業	6	75	81	3	70	73	8	11.0	1.1	3	70	73
合計	21	3,467	3,488	12	3,330	3,342	146	4.4	48.2	12	3,330	3,342

令和5年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	6	8時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	一般動力機械 169	被災者は、堤防の草刈作業に従事し、堤防の法面で乗用草刈機を運転していたところ、草刈機が用水路に落下し、同機械の下敷きとなった状態で発見されたもの。
5	6	16時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	物、仮設物、構築物等 415	屋根板金のふき替え作業中、勾配のある屋根上で軒側に背を向けて後ずさりしていたところ、約8m下の地面に墜落したものの。
5	7	19時台	建築工事業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機 221	社用車のトラックを運転して出張先から自社に戻る際、片側1車線の直線道路上でセンターラインをはみ出して路外に逸脱したものの。
5	10	12時台	土木工事業	10人未満	おぼれ	環境等 711	被災者は、複数名で山中の道路の陥没箇所を確認するにあたり、道路外の斜面に下りて路盤の写真を撮ろうとした際に、誤って撮影用の携帯電話を落としたため、回収しようとさらに急な斜面を下って行ったところで行方が分からなくなり、翌日に湖の水中に沈んでいる状態で発見されたもの。
5	10	14時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	建設機械等 144	被災者は、締固め用ローラーを方向転換のため後進させていたところ、路肩から約4メートル下に転落したものの。
5	12	14時台	土木工事業	10人未満	転倒	建設機械等 146	被災者は、樹高約18mの支障木の伐倒準備作業中、支障木にロープをかけるため高所作業車のバスケットで運転操作を行っていたところ、当該高所作業車が転倒し、バスケットから投げ出されたもの。

令和6年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
6	1	14時台	土木工事業	30人以上 49人	はさまれ まれ、巻き込	建設機械等 149	被災者は、排雪ダンプの誘導のため移動していたところ、一時停車中の除雪ドーザーの後ろで転倒し、その直後後退した除雪ドーザーにひかれたもの。
6	2	9時台	建築工事業	30人以上 49人	崩壊、倒壊	環境等 711	被災者は、ドラグ・ショベルで掘削した箇所に入り、スコップを使用して手掘りで地面を掘削していたところ、法面が崩壊し、土砂に下半身が埋まり被災したもの。
6	2	11時台	建築工事業	10人未満	崩壊、倒壊	仮設物、建築物等 415	被災者は、建築物解体現場にて解体物の搬出準備作業に従事していたところ、倒壊した建築物の下敷きになったもの。
6	3	8時台	土木工事業	10人未満	飛来、落下	材料 521	被災者は、トレーラーの荷台に2段積みされていた鉄筋かごの荷下ろし作業のため、固定していたワイヤーのチェーンブロックを地上で緩めていたところ、荷崩れにより鉄筋かごが落下し、下敷きになったもの。
6	3	9時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物、建築物等 415	被災者はマンション1階にある屋外照明を移設するため、手すり等を設けずに1階屋根上を通過して作業場所へ移動していたところ、墜落したもの。
7	5	10時台	その他の建設業	10人未満	感電	電気設備 351	被災者は、低圧電線の取替作業を行うため電柱に登り、腕木付近で身体保持器具の位置替え等を行っていた際に、低圧電線から約1.2メートル上部にある高圧電線に誤って触れて感電したもの。

令和5年 業種別労働災害発生状況

(確定)

稚内労働基準監督署

区分 業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計		123	123		257	257	-134	-52.1	100.0		257	257
除く鉱業計		123	123		257	257	-134	-52.1	100.0		257	257
製造業		20	20		33	33	-13	-39.4	16.3		33	33
食料品		17	17		26	26	-9	-34.6	13.8		26	26
木材木製品		1	1		1	1			0.8		1	1
紙・パルプ												
窯業・土石		1	1		5	5	-4	-80.0	0.8		5	5
金属・機械		1	1		1	1			0.8		1	1
その他												
鉱業												
土石採取業		1	1				1		0.8			
建設業		25	25		30	30	-5	-16.7	20.3		30	30
土木工事業		11	11		13	13	-2	-15.4	8.9		13	13
建築工事業		9	9		6	6	3	50.0	7.3		6	6
木造建築業		3	3		7	7	-4	-57.1	2.4		7	7
設備工事業		2	2		4	4	-2	-50.0	1.6		4	4
道路貨物運送		10	10		8	8	2	25.0	8.1		8	8
その他の運輸		1	1		1	1			0.8		1	1
貨物取扱業					1	1	-1				1	1
林業		2	2		2	2			1.6		2	2
漁業		15	15		27	27	-12	-44.4	12.2		27	27
商業		7	7		15	15	-8	-53.3	5.7		15	15
清掃業		1	1		4	4	-3	-75.0	0.8		4	4
畜産業		6	6		23	23	-17	-73.9	4.9		23	23
その他の事業		35	35		113	113	-78	-69.0	28.5		113	113

※本統計は労働者死傷病報告書(休業4日以上)から集計したものであり、前年同期との比較です。

※稚内労働基準監督署の管轄は、宗谷地方(稚内市、豊富町、猿払村、利尻町、利尻富士町、礼文町、枝幸町、浜頓別町、中頓別町、幌延町)及び留萌地方北部(天塩町、遠別町)の1市10町1村です。

令和5年 業種別労働災害発生状況(新型コロナ除く)

(確定)

稚内労働基準監督署

区分 業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計		107	107		140	140	-33	-23.6	100.0		140	140
除く鉱業計		107	107		140	140	-33	-23.6	100.0		140	140
製造業		20	20		31	31	-11	-35.5	18.7		31	31
食料品		17	17		24	24	-7	-29.2	15.9		24	24
木材木製品		1	1		1	1			0.9		1	1
紙・パルプ												
窯業・土石		1	1		5	5	-4	-80.0	0.9		5	5
金属・機械		1	1		1	1			0.9		1	1
その他												
鉱業												
土石採取業		1	1				1		0.9			
建設業		24	24		24	24			22.4		24	24
土木工事業		10	10		9	9	1	11.1	9.3		9	9
建築工事業		9	9		6	6	3	50.0	8.4		6	6
木造建築業		3	3		7	7	-4	-57.1	2.8		7	7
設備工事業		2	2		2	2			1.9		2	2
道路貨物運送		10	10		8	8	2	25.0	9.3		8	8
その他の運輸		1	1		1	1			0.9		1	1
貨物取扱業					1	1	-1				1	1
林業		2	2		2	2			1.9		2	2
漁業		15	15		27	27	-12	-44.4	14.0		27	27
商業		7	7		15	15	-8	-53.3	6.5		15	15
清掃業		1	1		4	4	-3	-75.0	0.9		4	4
畜産業		6	6		14	14	-8	-57.1	5.6		14	14
その他の事業		20	20		13	13	7	53.8	18.7		13	13

※本統計は労働者死傷病報告書(休業4日以上)から集計したものであり、前年同期との比較です。

※稚内労働基準監督署の管轄は、宗谷地方(稚内市、豊富町、猿払村、利尻町、利尻富士町、礼文町、枝幸町、浜頓別町、中頓別町、幌延町)及び留萌地方北部(天塩町、遠別町)の1市10町1村です。

令和5年
業種別・事故の型別労働災害発生状況 (確定)

稚内労働基準監督署

事故の型	業種	製造業						鉱業	土石採取業	建設業	土木工事業	建築工事業	木造建築業	設備工事業	道路貨物運送業	その他の運輸業	貨物取扱業	林業	漁業	商業	清掃業	畜産業	その他の事業	全産業合計
		食品	木材製品	紙・パルプ	窯業・土石	金属機械	その他																	
1 墜落・転落		2	2						6	1	2	2	1	5				2	1	1	2	2	21	
2 転倒		3	2		1				2	2				1				3	2			12	23	
3 激突																		1					1	
4 飛来・落下		1	1						3	1	1	1						2					6	
5 崩壊・倒壊		1	1											1					1				3	
6 激突され																	2	1			3		6	
7 はさまれ・巻き込まれ		4	2	1		1		1	4	3			1	2				4			1	1	17	
8 切れ・こすれ		3	3						2		2								2			1	8	
9 踏抜き																								
10 おぼれ																								
11 高温・低温の物との接触		3	3						1	1					1			1					6	
12 有害物との接触		1	1																				1	
13 感電																								
14 爆発																								
15 破裂																								
16 火災																								
17 交通事故(道路)									6	2	4			1								1	8	
18 交通事故(その他)																								
19 動作の反動・無理な動作		2	2															1	1			3	7	
90 その他																								
99 分類不能																								
合計		20	17	1		1	1		1	24	10	9	3	2	10	1		2	15	7	1	6	20	107

令和5年 有害物質による急性中毒等発生状況（確定）

北海道労働局

No.	発生日	時刻	業種	規模	災害の状況
1	2	12時台	一般貨物自動車運送業	10人以上 30人未満	被災者2名は、自社の修理場内で作業中、ストーブを使用していたところ、排煙が充満し一酸化炭素中毒となったもの。 [一酸化炭素：被災者2人(休業4日未満2名)]
2	4	13時台	その他の商業	30人以上 50人未満	被災者は、調理場で食事の準備をはじめようと厨房に入ったが、間もなくして、体調不良(吐き気、めまい、歩行困難等)となったもの。なお、同日の午前中に、外部業者により厨房のレンジフードの塗装作業が行われていたもの。 [その他の中毒：被災者1人(休業4日以上1名)]
3	5	0時台	ビルメンテナンス業	100人以上	作業員2名で温泉施設の浴室を清掃作業中、被災者が使用していた塩酸を希釈した溶液を入れたバケツに、誤って他の労働者が次亜塩素酸ソーダを投入したためバケツから塩素ガスが発生し、そのガスを吸った作業員1名が被災したもの。 [その他の中毒：被災者1人(休業4日以上1名)]
4	6	11時台	一般飲食店	10人未満	被災者は、工事現場の現場事務所に昼食用の弁当を届ける途中、掘削坑から蒸気等が噴出し、被災者はすぐに車で現場を離れたが頭痛等の症状が現れ、病院を受診したところ硫化水素中毒であったもの。 [硫化水素中毒：被災者1人(休業4日未満1名)]
5	7	17時台	土木工事業	10人以上 30人未満	道路の高架橋の塗装塗り替え工事において、被災者は剥離剤(ベンジルアルコール等含有)を塗布した鋼製橋脚の塗膜の剥離作業中に意識を失い倒れたもの。 [その他の中毒：被災者1人(休業4日未満1名)]
6	8	1時台	その他の建設業	30人以上 50人未満	地下駐車場内において、ガソリンエンジン式発電機を使用し電気工事等を行っていたところ、作業をしていた複数の下請労働者計6名が体調不良となったもの。 [一酸化炭素：被災者6人(不休6名)]
7	9	11時台	倉庫業	10人以上 30人未満	被災者は、馬鈴薯倉庫で馬鈴薯の品温測定を行っていたところ、二酸化炭素濃度が上がったため倉庫を出たが、頭痛等の体調不良となったもの。 [その他の中毒：被災者1人(休業4日未満1名)]
8	11	14時台	その他の小売業	30人以上 50人未満	被災者は、移動販売車の中で炭火を使用し調理をしていたところ、体調不良となったもの。 [一酸化炭素：被災者1人(休業4日以上1名)]
9	11	17時台	食料品製造業	10人未満	次亜塩素酸ナトリウム入り容器の交換作業中、誤って同液を床にこぼしたが、これとは別に隣にあった酸性洗剤(硫酸混合液)も床にこぼしていたため、床上で混ざり塩素ガスが発生し、そのガスを吸った2名が被災したもの。 [その他の中毒：被災者2人(休業4日未満2名)]
10	12	11時台	土木工事業	10人未満	被災者は、橋梁補修工事において、ビニールシートで隔離養生した足場内でモルタルのはつり作業中に、稼働していたエンジン式発電機の排気ガスを吸引して倒れ、救急搬送されたもの。 [一酸化炭素：被災者1人(休業4日未満1名)]
合計	発生件数		10	内訳	一酸化炭素中毒 4 件 酸素欠乏症 0 件 硫化水素中毒 1 件 その他の中毒 5 件
	被災者数		17	内訳	死亡 0 人 休業4日以上 3 人 休業4日未満 8 人 不休 6 人